

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森桜川校		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携を細やかに行っている。	ケース会議以外の時間でも、職員同士で利用者様についての情報共有を意欲的に行っている。	情報に抜けがないよう、口頭のみでなく、社内アプリを活用して共有する。
2	活動プログラムが充実している。	必要に応じて教材を手作りしたり、個別だけでなく小集団支援を行ったりして、固定化しないようにしている。	引き続き、利用者様の発達段階に応じて柔軟にプログラムを設定する。
3	保護者様と、利用者様についての情報共有や相談援助等を積極的に行っている。	必要に応じて家族支援を勧めている。こちらから積極的に保護者様にお声がけするようにしている。	これまで家族支援を実施したことがない方にもお声がけをする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物内外の階段や段差等が危険。	一軒家であること。	利用者様が階段や段差のある場所を通る際は、怪我のないよう注意深く見守る。
2	保護者同士の交流の機会や、保護者向けの研修の機会が少ない。	企画・運営をする時間を確保することが難しかった。	保護者様のご要望を伺い、保護者様向けの研修やファミカフェの開催等の機会の充実を図る。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流の機会が少ない。	困りごとがあった際、事業所内で話し合って方向性を決めることが多く、外部との交流を積極的に行わなかった。	利用者様についての情報共有や支援の方向性の確認等が必要になった時は関係機関連携を行い、つながりを増やしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森桜川校
------	------------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 17

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2	1	0	風船やトランポリンなどの時、もっと広い場所だといいのにと思います。	一軒家を借りているため、ご不便をおかけしているところがあるかもしれません。何かお困り事等ありましたら、遠慮なくお話しください。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	0	1	人員不足による支援日の変更が多いため。(気にはならない)	人員配置の関係で、ご不便をおかけすることがあるかもしれません。なるべく希望に沿ったご利用となるよう、尽力いたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1	1	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	15	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	2	10		1時間の療育のなかで、交流等は難しいです。もし関係機関との連携会議等のご希望がございましたら、遠慮なくご相談ください。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	0	5		もしご相談等ございましたら、家族支援も行っていきますので、お声がけください。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2	0	0		必要に応じて、家族支援やモニタリング等でお子様のご様子をお聞かせいただけたらと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	2	10		今年度はそのような機会がありませんでしたが、次年度以降はファミかふえの開催等、保護者様同士の交流の機会を作っていけたらと考えております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	4		クラ・ゼミの職員についてなどもし何かありましたら、まずは管理者の方に遠慮なくお話しください。 子どもの相談等は、管理者、指導員等、話しやすい人にお話しただけたらと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	0	9		Instagramの更新を定期的に行っており ます。よろしければご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	2		
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	6		事故防止、緊急時の対応、感染症対応等 につきましては、契約時にお伝えしたも のを待合室にも掲示しております。ま た、定期的に行っている訓練の様子も掲 示しておりますので、よろしければご覧 ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	10		避難訓練については、防災掲示板にお知 らせがありますので、よろしければご覧 ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	3		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	0	毎週「クラゼミおべんきょーね」とニコ ニコで楽しみにしています。	私たちもクラ・ゼミに来てくださるのを いつも楽しみにさせていただいていま す。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	・満足ではあるが、一部訛りが強い先生 がいて、家でも使わないような言葉（津 軽弁）を使って話しかけているので、イ ントネーションは津軽弁で構わないが、 単語はやめてほしい。 ・親子共に安心して通所できています。 今後ともよろしく願います。	いつもお忙しい中通ってきてくださり、 ありがとうございます。今回いただいた ご意見を踏まえ、今後も保護者様と一緒 に、お子様の成長をサポートしていき たいと思いますので、これからもよろしく お願いいたします。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森桜川校	公表日	2025年 2月 15日
------	------------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			・概ね適切であるが、その日の職員の人数によってはフィードバックを十分な体制で行えないこともある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・階段や段差等危険があるため、常に職員が見守るようにしている。また、階段をのぼるのが難しい時は、一階で支援を行うことができるよう、大きめの机と椅子を用意している。	・階段が危険。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			・掃除が行き届いていない箇所もある。 ・雪の対策が不十分。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			・時間帯によって使える部屋がある場合とない場合がある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ケース会議を週に2回設け、情報共有等を行っている。 ・ケース会議だけでなく、空いた時間を利用して利用者様の様子について共有したり、今後の支援を検討している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・ケース会議の時間を利用しての事業所内研修や、発達支援研究所の研修に参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	・個人での作成だが、立案に悩んでいる際すぐに周囲に聞ける環境で、アドバイスや意見をもらえる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	・必ずではないが、事前に打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・決まった打ち合わせはないが、空き時間に報告をしている。 ・ケース会議で共有している。	・支援終了後には振り返りを行う時間を十分に確保することが難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・保育所等からのご希望に応じて行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・保護者様のご希望に応じてサポートブックを作成し、お渡ししている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・フィードバックの中でお子様のアセスメントと、望まれる対応についてお伝えしている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			・必要に応じて家族支援を行っている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			・Instagramで情報を発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			・予防接種の有無は不明。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		・食事の提供を行っていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			